

1 ねらい

物語に興味をもって、初めの感想をもつことができる。【読】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1 これまでの学習をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p. 7「いつも気をつけよう」を使って、これまでの学習でできるようになったことを確かめる。</li> </ul>
5分	2 単元のめあてを確認し、学習計画を立てる。	
	心に残ったことをもとに、作品を紹介しよう。	
7分	3 作品を紹介する方法や内容、よさについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のめあてを提示し、この学習を通して身に付けたい力を知らせる。</li> <li>・学習の流れを確認する。</li> <li>・だれに、どんな方法で、どんなことを紹介するか考えさせる。</li> <li>・紹介し合うことによって、さらに物語を詳しく知ったり考えが広がったりすること、本への興味が高まることなどを押さえる。</li> </ul>
5分	4 「一つの花」という題名から、内容について想像する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つの」という表現に着目させ、題名には作者の思いが込められていることに気付かせる。</li> </ul>
20分	5 範読を聞いて、初発の感想をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味が分からなかった言葉を確認する。</li> </ul>
3分	6 ふり返りをして、次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つの花」を詳しく読んでいくことを予告する。</li> </ul>

3 評価

物語に興味をもって、自分なりの感想をもっている。(発言・ノート)